

教育目標	1. 国際社会ですこやかにたくましく生き抜く基礎・基本を培う。 2. 個性や特性を大きく伸ばし豊かな想像力を養う。 3. 社会に貢献できる能力・態度を育てる。			
目指す学校像	1. 英語教育や国際理解教育に力を入れ、国際社会を生き抜く力を身に付けさせる学校 2. 学ぶ者としての基本的な態度や姿勢をきちんと指導し、個性や特性を大きく伸ばせる学校 3. 生徒が思いやりの心と規範意識を持ち、明るく生き生きと活動している学校 4. キャリア教育を充実させ、大学進学や生徒の希望する進路を実現させる学校 5. 奉仕体験活動を通して社会に貢献する意欲や態度を育てる学校			
中期目標と方策				
単位制高校の特質を活かし、基礎的・基本的な学力の定着や、さまざまな進路実現に向けた学力向上を図り、学習活動・特別活動に主体的・意欲的に取り組む生徒の育成に努める。				
	中期目標と方策	今年度の取組目標と方策	今年度の重点目標と方策	数値目標(昨年度実績)
全体	1 【学習指導】 日常の授業の工夫、改善を図り、生徒の主体的な学習意欲の向上を図る。家庭学習時間の増加により、学習習慣、基礎・基本の定着や各自の進路に向けた学力の向上を図る。	①学習支援ツール「Classi」を活用した、家庭学習時間の増加、及び、学習内容の理解度、定着度の上昇。 ②日々の授業に向けて、主体的な姿勢を育み、学習習慣の定着を促す。 ③教科会での情報共有、組織的な取組による授業力の向上 ④東京都主催や外部団体主催の教員向け研修に積極的に取組み、授業力の向上を図る。	○年5回、ICT活用週間を設定し、全教員がTeams等を活用した教育活動を実施。 ○学習支援ツール「Classi」の動画ソフトと授業との連動 ○模試の事前、事後学習を各教科で実施する ○予習・復習を具体的に示し、自主的な学習習慣を定着 ○授業で読書指導を行い、読書活動を推進 ○土曜・放課後補習の充実 ○基礎・基本の定着へ「ステップアップ学習」を年3回実施 ○ICT、アクティブラーニングによる授業改善による、生徒の主体的学習の推進 ○生徒による授業評価アンケートによる授業改善	○Classiの授業(英国数理社)での活用(学期1回以上) ○家庭学習時間、学年+1時間を50%以上の生徒達成(44%) ○読書をする生徒50%(40.5%) ○授業満足度80%(64.7%) ○準備をして授業に臨んでいる生徒90%(80.7%)
	2 【国際理解教育】 「東京グローバル10」「海外学校間交流推進校」として、英語教育・国際理解教育を充実させる。	①国際交流行事の充実 ②英検等外部検定全員受験 ③授業、行事、LHRを通して、コミュニケーションやプレゼンテーション能力の向上を図る。 ④SDGs教育の推進	○英語検定、GTEC等外部検定の指導 ○海外交流の推進、ネット、手紙等の間接的な交流の工夫 ○キット・ドラマコンテストの実施 ○「ともだちプロジェクト」等、オリ・パラ教育の推進	○実用英語検定準2級以上合格者数60名(54名) ○SDGs、JICA等講演会
	3 【キャリア教育】 3年間を見通した系統的なキャリア教育により職業的自立意識の醸成を行い、将来設計に基づいた進路指導を進める。社会変化に対応できる人材の育成を図る。	①1・2年次からのキャリア教育の実践 ②大学入試改革に伴う指導体制の見直し。 ③推薦入試に向けた1・2年次からの指導 ④職業的自立意識の醸成	○大学・研究機関等外部団体主催の校外活動への参加を推奨する。 ○各種検定や資格に積極的に挑戦するよう指導する。	○英検、漢検以外の検定等合格者数50名(29名・情報) ○校外活動参加者100名 ○インターンシップ参加者50名(19名) ○1・2年次の上級学校見学

	4 【生活指導】 規範意識を高め、自分で判断し決定実行する自己指導能力の育成を図る。言葉遣いや行動に、相手を気づかい、いたわる心が持てる人間を育成する。防災教育を行い、防災の意識を育てる。	①学校生活のあらゆる場面で生徒の自己指導能力を高める指導を行う。 ②体罰根絶、いじめの未然防止・自殺防止に取り組み、人権尊重の教育を推進する。 ③校内美化の徹底 ④防災訓練の実施 ⑤新型コロナウイルスへの効果的、効果的な対応をふまえた教育活動に実施	○時間を守る、礼儀身だしなみ等の指導を全校体制で行う。 ○事故や問題行動の未然防止のため予防的指導を行う。 ○全校体制で清掃活動を行い、校内の美化に努める。 ○学校安全計画を策定し、防災教育、薬物乱用防止教室等、生徒の安全に関する指導を徹底する。 ○新型コロナウイルス情報の教職員間の情報の共有と生徒への周知、注意喚起	○授業開始終了時の挨拶、服装指導の徹底 ○提出物、遺失物の減少 ○いじめ、体罰ゼロ ○特別指導ゼロ
	5 【広報活動】 本校の教育に理解と共感を抱く保護者、生徒の拡大を図り、進路や国際理解教育に意欲的に取り組む生徒の獲得を目指す。	①全校体制での広報活動 ②総務国際部を中心に、効果的・効果的な広報活動を展開	○全校体制で、中学校塾訪問を展開 ○HPの各部活動の更新 ○全校体制での学校説明会、授業公開、部活動体験の実施	○入選中進対倍率1.4倍(0.88倍) ○中学校塾訪問回数400以上(262) ○全教員1人3校以上中学校塾訪問を行う。 ○HPの部活動のページ更新(1回以上)
	6 【学校経営】 教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を遵守し、協働意識を持ち、ライフ・ワーク・バランスを図る。	①服務規律の徹底 ②個人情報の管理 ③情報の共有化と会議の効率化 ④会議の時間短縮	○企画調整会議、職員会議の効率化 ○分掌や学年の連携により、業務の効率化を図る	○服務事故防止研修実施(3回) ○服務事故ゼロ ○在校時間が80時間/月を超える教職員ゼロ ○会議議事録等の情報共有 ○会議時間60分以内
教科	7 教育改革、入試制度改革の動向を見据えた、指導体制・指導方法・指導内容を研究し、教科としての一層の指導の充実を図る。生徒が主体的な学びを行う場面に授業に取り入れる。	①模試、共通テストの結果分析を実施し、教科指導に反映させる。 ②変革期を迎える大学入試の情報収集と分析、指導方法の探求 ③新学習指導要領を踏まえた指導内容、方法の改善	○模試、共通テストの結果について、教科会で分析し、職員会議で報告する。 ○大学入試問題の分析 ○分析結果に基づくシラバスの改定 ○補習、補講の充実 ○教科会での情報の共有化	○「教え方の工夫」への生徒の肯定評価75%(67.1%) ○補習・補講50講座2000人以上(26講座470人)
部活動	8 部活動の一層の活性化を図り、集団や社会の一員としての自覚と行動力、協調する態度を育てる。	①部活動の参加を推進し、活動内容の充実を図る。 ②大会参加、発表に主体的に参加させ成就感や自己肯定感を得られるよう指導する。	○部活動への参加の促進 ○外部大会、文化祭等への参加、発表等を充実させる	○部活動加入率90%(84.2%) ○都大会以上の公式戦・大会参加部数25(18)
学年	9 3年間を見通した継続的・計画的な指導を通して、主体的に行動する生徒の育成を図り、志の高い進路希望の実現を図る。	①面談やHR活動を通して生徒理解に努め、学習・行事等への積極的姿勢を育てる。 ②CGと連携し、進路情報の提供により進路意欲を高める。 ③生徒部と連携し、礼儀・身だしなみ等の指導を行い、規律ある学級運営を行う。	○家庭学習習慣の定着と充実 ○規範意識の向上 ○模試データの活用による進路指導 ○面談、カウンセラーとの連携により、生徒理解を深めきめ細かい指導を行う。	○1日あたりのクラス平均遅刻人数1未満(1.31) ○学校生活が充実している生徒90%(85.8%)

総務 国際交流部	10 保護者、地域、都民の信頼を得る学校づくりの推進へ、保護者、地域と連携を深め、情報発信を充実させる。本校の教育活動を理解し志望する受検応募者を増やす。国際理解教育を充実させ、グローバルな視野を持ち、将来の国際的な社会で活躍する人材を育成する。	①地域、中学生に向けての情報発信を強化し、本校の教育活動を理解し志望する受検者を増やす。 ②国際社会で生き抜く生徒の育成に向け、国際理解教育を充実させる。	○HP、パンフレットの改善による情報発信の強化 ○全校体制で行う広報活動の支援 ○学校運営連絡協議会、PTAの協力 ○姉妹校、受け入れ等海外交流の充実	○HP 更新回数 150 回 (338 回) ○学校説明会来場者数 4000 名以上 (1066 名) ○在日大使館、海外留学生による講演 3 回 (0 回) ○訪日高校生との交流 2 回 (0 回) ○ネット、手紙等による海外学校との交流
教務部	11 単位制の特色を活かした教育活動の環境整備を行い、教育課程に基づき組織的・計画的に質の向上を図るカリキュラムマネジメントを推進する。	①新指導要領に基づいた新しい教育課程の編成 ②成績処理システムを活用した成績の適切な処理 ③入選業務の適切な遂行 ④在京外国人の学習環境の整備	○新教育課程の編成 ○成績処理システムの管理・運用 ○入選業務の適切な遂行 ○日本語教育等、在京外国人の学習環境の整備	○入学選抜業務事故ゼロ
生徒部	12 学校行事を充実させ、社会の一員としての自覚を持たせ、主体的に取り組む生徒を育てる。身だしなみ、礼儀指導を徹底し、規範意識を高める。生徒の健康の保持、増進及び体力の向上を図り、心身ともに健康な人間の育成を目指す。	①行事や部活動の活性化により活気あふれる学校生活を作る。 ②礼儀、身だしなみ指導を徹底し、規範意識を育てる。 ③心身ともに健康な学校生活を送れるよう支援体制を充実させる。	○行事、委員会等での生徒の主体的な活動の指導 ○校門指導、頭髪指導を通して、基本的生活習慣の確立、社会人としての常識や規範意識を身に付けさせる。 ○カウンセラーと連携し、教育相談の体制を充実 ○安全衛生教育を行い、インフルエンザ等の予防、健康知識の普及により、健康安全に配慮した学習環境を整備する。	○部活動加入率 90% (84.2%) ○行事の満足度 90% (一昨年 84.8%) ○都大会以上の公式戦・大会参加部数 25 (18) ○特別支援教育に関する委員会の開催回数 15 回 (14 回) ○学校が健康管理に取り組んでいると思う生徒 80% (82.3%)
キャリア ガイダンス部	13 進路情報や進路資料を整理し、教員間での共通理解が図れるよう積極的な情報提供を行う。3年間の継続的・計画的なキャリア教育を学年と連携し充実させる。	①全校集会、学年集会、プリント配布等により進路意識の啓発を図る。 ②各学年と連携を図り、系統的計画的なキャリア教育を行う。 ③入試制度改革への対応 ④学習支援ソフト Classi の有効活用 ⑤模試を活用した進路指導 ⑥CG室の資料の充実	○学習支援ソフト「Classi」の利用率の向上 ○模試を活用した生徒の学力把握と全教員の情報共有、学習指導への活用 ○収集した進路情報の分析と校内への周知 ○統合型選抜 (AO)、学校推薦型選抜の情報収集と教員への周知、指導方法の研究、指導体制の構築	○進路決定率 90% (84.5%) ○大学進学率 70%以上 (62.5%) ○模試結果分析会 4 回 ○「Classi」を月平均 10 時間以上利用する生徒 60%
経営 企画室	14 計画的な予算執行を心がけ、校内関係部署と連携し円滑な教育活動を支援する。	①管理職、関係教員と連携をとり、円滑な業務を実施し、業務の省力化を心掛ける。 ②複数対応、連絡、相談、報告を行い、服務事故防止を目指す。 ③丁寧で温かい窓口対応	○施設の老朽化への対応 ○計画的で効率的な予算執行 ○関係部署との緊密な連携	○一般需用費のセンター執行割合 65% (54%) ○予算調整会議による予算計画 ○計画的予算執行 ○会計事故ゼロ